

## 上野公園北部エリアの回遊性向上に向けた取組について

### 1 背景・目的

区では、上野地区まちづくりビジョンに掲げる2040年代頃の将来像実現に向けて、歩行者優先でわかりやすく、居心地が良く歩きたくなるウォーカブルまちづくりを推進している。

上野公園北部エリアには、歴史、文化・芸術、自然といった特色ある資源が豊富に存在している。こうした地域資源を最大限活用しながら、エリア内外の回遊を促進することにより、新たな賑わいや交流の創出を図り、当エリアを含めた上野地区全体の魅力・価値の更なる向上につなげていく。

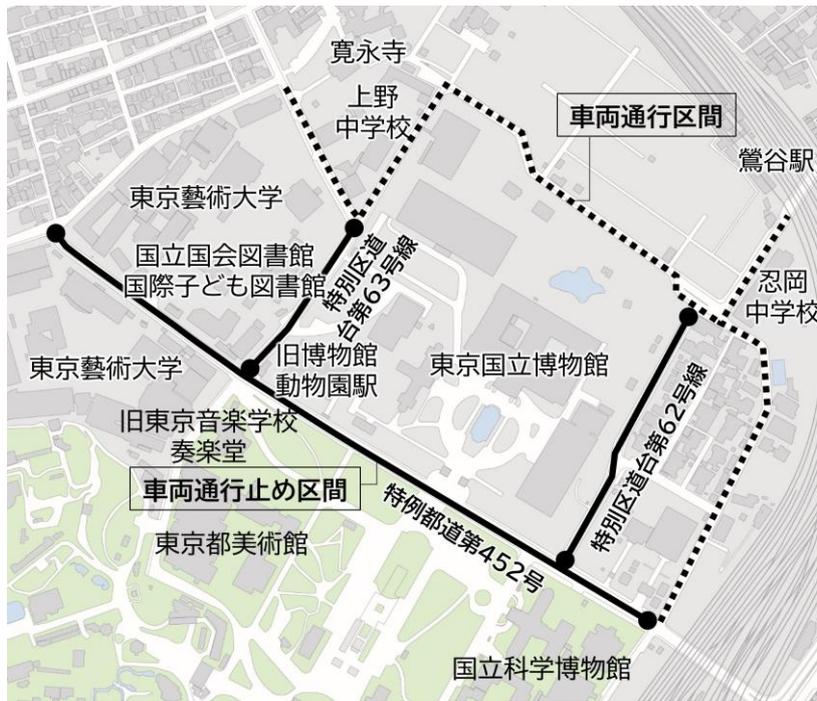
### 2 方向性整理の状況

共通認識と相互連携のもと、当エリアのまちづくりを着実に進めていくため、文化・芸術施設や教育機関等へのヒアリングを踏まえ、関係者が描く当エリアの将来のイメージや方向性を集約した。(別添参照)

### 3 新たな取組

これまでのヒアリングを通じ、当エリアのまちづくりの推進に向けた気運が高まっていることが明らかとなった。

そこで、当エリアの将来イメージを検証するため、エリア内外や各施設間を回遊しやすい歩行者空間の創出と、各施設での賑わいや交流に資する空間活用を試行する社会実験を実施する。また、一部道路で予定している車両通行規制による人の流れや交通への影響を確認する。



社会実験実施エリア（案）

※実施エリアは関係機関との協議を踏まえ、最終的に確定する

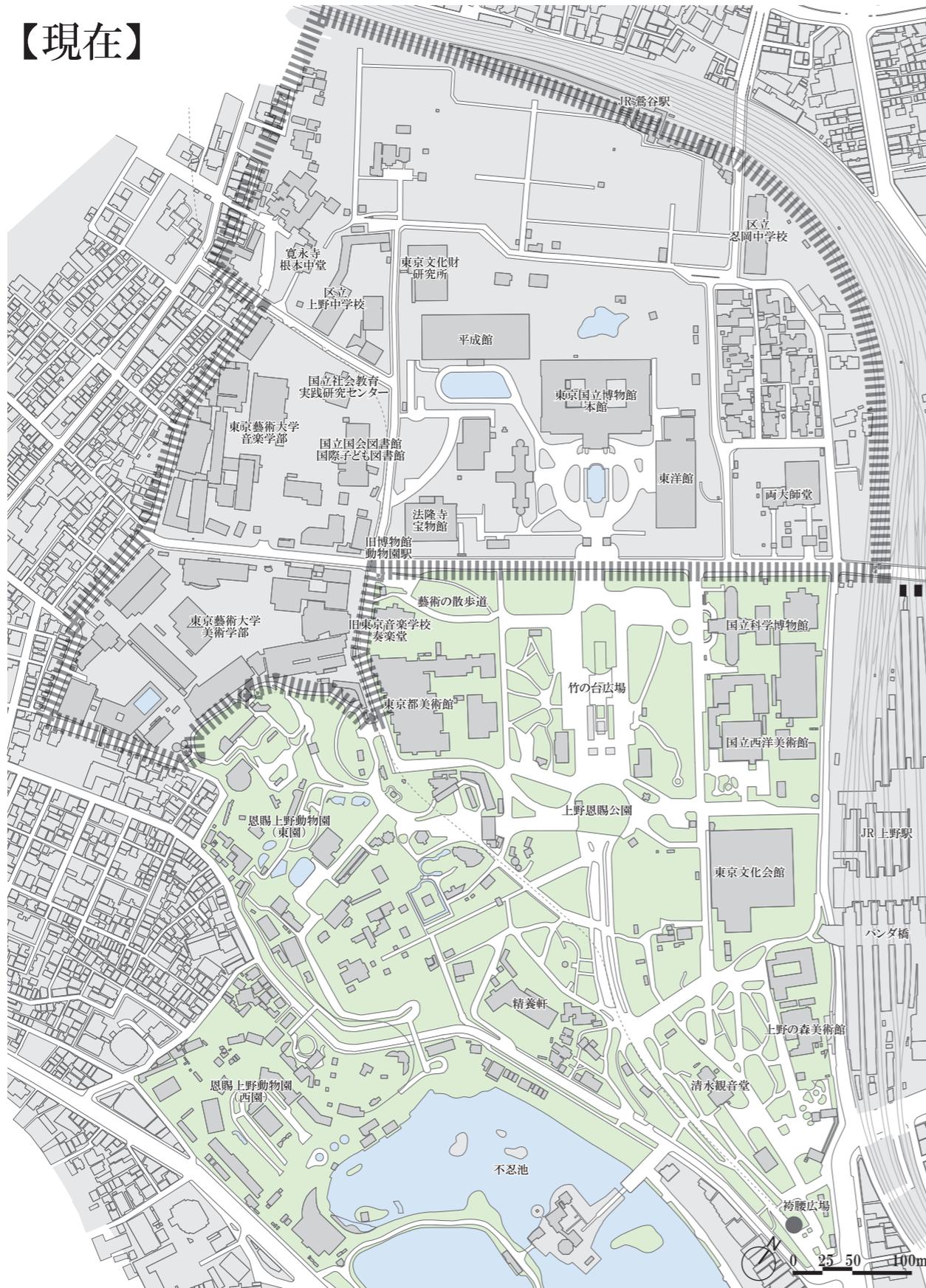
#### 4 補正予算額（案）

29,953千円

#### 5 今後の予定

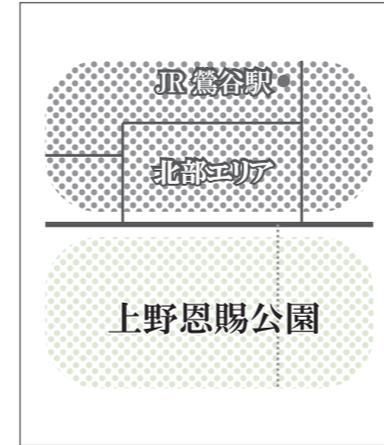
令和6年9月 道路・施設空間活用の社会実験実施

【現在】



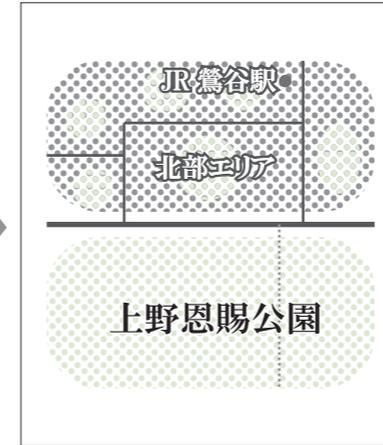
関係者が描く、将来イメージ・方向性

現在



上野恩賜公園と北部エリアが道路で分断された状態。各施設が独自の取組をしているもののつながりは薄い

つながる、ひらく  
ちょっと先の未来



「つながりたい」想いに呼応して、各施設が「ひらかれた」状態。施設と道路のきわがあいまいになり、みちひろばが展開されている

杜がひろがる  
もう少し先の未来



上野恩賜公園が北部エリアにひろがった状態。各施設と道路の境目がなくなり、往来しやすくなる

【ちょっと先の未来】

ヒアリング・インタビューにおける主なご意見

